

ゴールデンウィークが明けたころから急激に気温が上昇し、夏日になる日もあります。このように急激に気温の変化があると体調を崩しやすくなりますので、体調管理をしっかりとなさってください。

有限会社美栗陸送 代表取締役 栗本佳孝



今年のゴールデンウィークは天候もよく5月3日～6日まで4日間の連休となりましたので、家族サービスも兼ねていろいろなところに出かけてきました。

まず初日は、息子が通う幼稚園の父兄を誘って郡上市の釣堀に行きました。

ここの釣堀がユニークなのは、釣竿が2種類ありひとつは切れやすい釣り糸だけど糸が切れるまで無制限にどれだけ釣ってもOKな竿。もうひとつは釣り糸が切れにくくなっているけど釣った魚はすべて重さを測って買取をしなければならない竿でした。

子供が多いので、釣りやすいようにと釣り糸が切れにくい方の竿を選んだのですが、小さな子供でも入れ食い状態で釣れて仕方ありません。あまり釣りすぎても困るので一人当たり2匹を限界に釣ったら、1時間もしないうちに釣るのをやめることになり子供たちは不満そうでした。

ほかの人の釣っているのを見ていると、釣り糸の切れやすい竿で魚を釣るにはとても忍耐力が必要な感じだったので、参加した大人限定で釣り糸の切れやすい竿でチャレンジしましたが結局1匹も釣れませんでした。見るのと実際にやってみるのではかなりの差があることを実感しました。その後釣った魚を炭火で焼いてもらったり、から揚げにしてもらってとても美味しくいただくことができました。

もう一箇所、石川県小松市の「自動車博物館」に行きました。この自動車博物館の特徴は、実際に走っていたクルマを集めて展示されていることです。昭和50年代の初代ソアラや初代クレストなども展示されていてとても懐かしい想いがしました。(余談ですが、私は20歳のころ2代目クレストスーパールーセントに乗っていました)

正直なところこの博物館で一番楽しんでいたのは家族の中で私だと思います。



お客様の立場で考え行動する 有限会社美栗陸送

岐阜県岐阜市細畑1-8-7 TEL: 058-213-6445 FAX: 058-213-6446

もうすぐ梅雨の季節となりました。



今年例年並みの6/8ごろから7/21ごろと予想されています。

台風でもないのに集中豪雨のニュースが各地から聞かれます。昨年いろいろな地域で1時間に100mmを超える集中豪雨による被害が発生しています。これからの季節は特にゲリラ豪雨や台風による集中豪雨も増えてきます。

雨の日は自動車を使って移動することも多いと思われませんが、車の水害対策はご存知でしょうか。

地形による谷間や低地、交差道路のアンダーパスのような低くなったところに雨水が急激に集中して道路が冠水するのも集中豪雨のときです。道路や車が水没したり、冠水した道路に直面したらいったいどうしたらいいのでしょうか。

☞ 道路が冠水していたら…

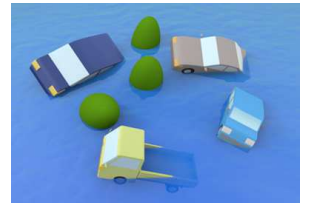
国道など大きな道路は豪雨時に通行止めとなって通れないことがありますが、細い道で目前に道路冠水があったときには自分で対処しなければなりません。では、冠水した道路を走ると車はどうなるのでしょうか。

例えば JAF ではプロのスタントマンによる冠水した道路の走行実験がおこなわれています。車のドアより上部の60cm程度の冠水で走行できるかという動画を公開しています。結果は、セダンでもSUV車でも10m～数十mで走行停止。エンジンに水が入り止まってしまいました。車高が高くても、スピードがゆっくりでもドアから水が入るような高さまで浸かるような冠水道路では車が止まってしまう危険があるということ。侵入しないで回り道をするのが必須のようです。

冠水した道路の注意

- 1) 水没したらドアが開くうちに避難する。
- 2) ゆっくり走っても走りきれないとは限らない。
- 3) 速度を上げては走ると巻き上げる水量が増え、エンジンが止まりやすくなる。
- 3) エンジンに水が入れば止まってしまう。
- 4) 冠水路の水深も水の中の様子もわからない。

☞ 冠水路は迂回をし、侵入しないようにしましょう。



☞ 車が水没したら…

駐車中に浸水の被害に合うことも考えられます。自宅マンションの地下駐車場などで浸水したり、外出中の駐車場で浸水ということも発生します。

ゲリラ豪雨が予想される時期は、駐車場の立地にも注意しておくことと水没の被害から逃れることができます。道路でも駐車場で車が水没し、エンジンに水が入ったりすると、ほとんどの場合は修理がきかず廃車となってしまいます。

また、水没した車のバッテリーは接続をはずしておかないと、出火の原因にもなりかねません。

☞ 走行中に水没してしまったら…

道路冠水の水位が深い場合や、湖などに転落したときは、車両の前方に重いエンジンが搭載されている乗用車では、前部が最初に沈みこみ前傾姿勢となります。万が一、こうした状況に遭遇しても慌てずに、まずシートベルトを外します。ウインドウガラスが水面より高い位置にある状態なら、ウインドを開けてクルマのルーフ(天井)に上るようにして脱出します。ところが、パワーウインドウの場合は水による電気系統のトラブルやガラスにかかる水圧で開かなくなってしまうこともあります。その場合、先の尖った緊急脱出用ハンマーがあれば簡単にガラスを割ることができ、脱出の可能性が格段に高まりますので、ぜひ常備しておきましょう。

外からの水圧によってドアを開けることができず、ウインドウガラスは開かずハンマーもないといった最悪の事態でも落ち着いて行動しましょう。次第に車内に水が入ってきますが、外の水位との差が小さくなったときにチャンスです。圧力の差が縮まるためドアにかかる水圧も小さくなるので、ドアが開けやすくなります。車内に残り残されてしまうと真っ先に外に脱出したくなりますが、車はなかなか沈まないものです。ドアが開きそうな状態であると感じたら、大きく息を吸い込み足など力を込めて押し開けま。落ち着いて脱出の機会をうかがいながら、そのタイミングを逃さず、一気に脱出を図りましょう。

(犬塚芳彰)

(松本千晶)



今月のお勧め本紹介

私の友人でいつも大変お世話になっている株式会社イズム代表取締役社長の 大西好彦さんがこのたび出版されました。アベノミクスの影響で株価の上昇や為替では円安が進むなど、投資が現在注目されて脚光をあびています。

しかし、この本に書かれている投資方法は今までの常識を打ち破った方法で、私も以前株投資をやっていましたが大西社長にお会いしてこの本に書かれている投資方法のお話を聞いてからは投資の案件は大西社長にお願いしています。細かい内容はお伝えできませんが、投資なのでリスクは必ずあります。しかし、年金が支給されるか分からない私ぐらい以降の世代にとっては、将来の生活資金を自分年金として投資していく必要性も強く感じました。